

Red Hat Ansible Automation Platform の導入を説得するための 4 つのヒント

全社規模の自動化が組織にとってミッションクリティカルになると、パッチワーク的なアプローチはもはや最適なソリューションではないことに気付くかもしれません。Red Hat® Ansible® Automation Platform (セキュリティが強化されており、テスト済みで信頼できるエンタープライズ製品) のような包括的な自動化ソリューションの導入は、ギャップや非効率性に対処するための助けとなります。ここでは、Ansible Automation Platform への移行について、職場の上司を説得するために役立つ 4 つの実用的なヒントをご紹介します。

1 エンドツーエンドの自動化ソリューションによる効率改善を実証する

自動化の主なメリットの 1 つは、時間のかかる手作業が減少することです。しかし自動化ソリューションが複数の統合されていないオープンソース・プロジェクトで構成される場合、継続的なメンテナンスが必要となり、時間とリソースを浪費することになります。Ansible Automation Platform のような包括的なソリューションなら、ITOps の大きな戦力となります。IT 投資のポテンシャルを最大限に引き出し、運用とプロセスを最大限に効率化できるからです。

時間を節約できる点について職場の上司に納得してもらうには、Ansible Automation Platform の次のような特長を伝えましょう。

- ▶ 作成、実行、管理を効率化するエンドツーエンドの自動化ソリューションを提供する。
- ▶ IT インフラストラクチャのメンテナンスに費やす時間を減らし、革新的なソリューションの開発に割く時間を増やせる。
- ▶ Red Hat の他のポートフォリオと統合されているため、自動化による時間の節約を広範囲で期待できる。
- ▶ 手作業を最小限にし、アジリティを向上できるツールが備わっている。
- ▶ Event-Driven Ansible: ルールベースのコンストラクトを使用して時間のかかる IT アクションを自動化する。
- ▶ Red Hat Ansible Lightspeed: 生成人工知能 (生成 AI) を使用して、自動化チームが自動化コンテンツをより効率的に学習し作成できるよう支援する。

2 現行ソリューションのリスク分野を明確に伝える

ほとんどの IT リーダーにとって重要な関心事は、セキュリティとリスク管理です。Ansible のアップストリーム版ではドキュメントが用意されていますが、オープンソースのソリューションだけに依存すると、技術的負債の発生やダウンタイムの増加につながりかねません (手作業によるプロセス、人為的ミス、高度にカスタマイズされ広く共有されていないソリューションが原因)。チームが成長し、組織が信頼性と安定性をより重視するようになると、これらの課題を克服するのは難しくなります。

上司には、Ansible Automation Platform なら以下のような点でさらなる安心感が得られることを伝えましょう。

- ▶ セキュリティを重視したエンタープライズ環境。
- ▶ エンドツーエンドのソフトウェア・サプライチェーン。
- ▶ リリースごとに最低 18 カ月のエンタープライズサポート。
- ▶ すべてのコンポーネントに対する重要なバグ修正とセキュリティ脆弱性のバックポート。サポートライフサイクル全体にわたってブランチの安定性が維持されます。
- ▶ バグやリグレッションを避けるため、厳格な包含基準を遵守。
- ▶ 自動化された Policy as Code (PaC)。ガバナンスポリシーを効率的に適用するために役立ちます。
- ▶ ルールブック、プレイブック、ポリシーブック。常に同じ方法でアクションを実行するため、人為的ミスを最小限に抑えることができます。
- ▶ さまざまなユースケースをサポートする、認証・署名されたコンテンツ。
- ▶ Red Hat Partner Connect プログラムに加入している 55 社以上のパートナーが提供する 130 以上の認定コンテンツコレクションへのアクセス。

3 自動化の取り組みを拡大できる機会について説明する

さまざまなアップストリーム・プロジェクトから構築された自動化ソリューションは、効果的かつ効率的に拡張することが困難です。上司には、統合自動化ソリューションである Ansible Automation Platform により、自動化戦略のレジリエンス、キャパシティ、スケーラビリティが高まり、セキュリティに今より注力できることを伝えましょう。

Ansible Automation Platform では、automation mesh や Ansible Lightspeed などの特別にパッケージ化された機能により、自動化を IT 環境全体に効率的に拡張できます。

automation mesh (すぐに使えるソリューションにバンドルされた、複数のアップストリーム・プロジェクトで構成) は、オンプレミス環境からハイブリッドクラウド全体、さらにはエッジロケーションにまで自動化を拡張できるオーバーレイネットワークです。

Ansible Lightspeed では、より効率的にプレイブックを作成できるため、ルールベースのコンストラクトの実装を加速して、すべてのソリューションにわたって IT アクションを迅速に実行できます。

また、Ansible Automation Platform ユーザー限定の認定コンテンツや統合を活用することもできます。

4 堅牢な自動化戦略がチームにもたらすメリットを強調する

Ansible Automation Platform への移行について上司を説得するには、組織のチームが得られるメリットについても伝えましょう。

自動化戦略を拡大すれば、従業員の満足度を高め、定着率の向上につながります。自動化は包括的なビジネス目標をサポートするため、次のような点で従業員にとって魅力的な機会となります。

- ▶ 自動化のスキルを高められる。
- ▶ 特定分野のエキスパートになれる。
- ▶ 異なる技術的バックグラウンドを持つチームメンバーと協力できる。
- ▶ 自動化ファーストの文化の一翼を担える。
- ▶ ビジネス価値の提供に貢献できる。

Ansible Automation Platform によって IT 資産全体でほぼすべてのエンドポイントを自動化できます。つまり自動化への取り組みを先導する従業員は、チームや部門全体にプラスの影響を与えられることになります。

Ansible Automation Platform を実際に試してみる

Red Hat Ansible Automation Platform の詳細については、[インタラクティブラボ](#)をご覧ください。



Red Hat について

Red Hat は、[受賞歴のある](#)サポート、トレーニング、コンサルティングサービスをお客様に提供し、複数の環境にわたる標準化、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発、複雑な環境の統合、自動化、セキュリティ保護、運用管理を支援します。

f fb.com/RedHatJapan
X twitter.com/RedHatJapan
in linkedin.com/company/red-hat

jp.redhat.com

アジア太平洋
+65 6490 4200
apac@redhat.com

オーストラリア
1 800 733 428

インド
+91 22 3987 8888

インドネシア
001 803 440 224

日本
03 4590 7472

韓国
080 708 0880

マレーシア
1 800 812 678

ニュージーランド
0800 450 503

シンガポール
800 448 1430

中国
800 810 2100

香港
800 901 222

台湾
0800 666 052